

第5学年-Unit3 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 (1/3時間)

1. 単元目標

- ・進んで、教科について尋ねたり答えたりしようとする。(コミュニケーションへの意欲・関心・態度)
- ・教科について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の大文字を読んだり書いたりすることに慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
- ・世界には様々な学校があり、日本と世界の学校生活の共通点と相違点に気付く。(言語や文化に関する気付き)

2. 表現・言語材料

- Do you have (P.E) on (Monday)? Yes, I do./ No, I don't. What do you have on (Monday)? I study (math). I want to be (a teacher). I want to study (math).
- 教科(Japanese, English, math, social studies, home economics, calligraphy, moral education, P.E) cleaning time, recess, 職業(police officer, soccer player, doctor, baseball player, florist), study

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
9分	・挨拶をする ○スリーヒントクイズ	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・教科に関する3つのヒントを英語や写真を使って出し、何の教科か答えさせる。ヒントだけでわからない場合は、ジェスチャーやピクチャーカードを使う。	写真
9分	○ポインティングゲーム ・指導者が言う教科名を聞き、誌面にある教科の絵を指さす。 ○Let's Listen (p.20) 音声を読み、どの教科のことを言っているのかを考えて、曜日の上の()に記入する。	・指導者の発音をよく聞きながらリピートさせるようにし、ペアで助け合いながら行わせるとよい。 ・活動に入る前に、誌面の時間割表を児童と確認しておきたい。 ・「英語を聞いて分かった」という成功体験を味わわせ、自信を持たせたい。	デジタル教材
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">時間割クイズをしよう。</div>			
15分	○Let's Play (p.20) ・Do you have～?と尋ねたり答えたりし、友達が選んだのはどの曜日から当ててみる。	・まずは教師がモデルクイズを示し、活動の仕方を理解させる。(学級の時間割を使ってもよい) S: Do you have English? T: No, I don't. S: Do you have math and music? T: Yes, I do. S: I got it! It's Friday. T: That's right!! ・やり方が分かったら、1つ曜日を選ばせ、クイズを友だちと行わせる。 ・数名、全体の前でクイズを出題させる。 ◎教科について尋ねたり答えたりしている。(外国語への慣れ親しみ)<観察>	
3分	○Let's Sing (p.20) ・音楽に合わせて歌う。	・繰り返し歌うことで定着を図る。 ・朝の会や終わりの会での活用も考えられる。	デジタル教材
4分	○Sounds and Letters "r"	T: Let's play "Finding words. (単語探し)" Find any words starting with /r/ from the textbook within twenty seconds. (20秒以内にテキストから「r」で始まる単語を見つけましょう。) ・指導者と児童全員で行う。制限時間を短くしていくなどするとよい。 ・見つけた単語の確認をし書く。(児童が発表した単語を黒板に書く。)	ワークシート(HF Plus)
5分	・本時の活動を振り返り、記入する。挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカード